

## 第2期長崎市中心市街地活性化基本計画（概要）について

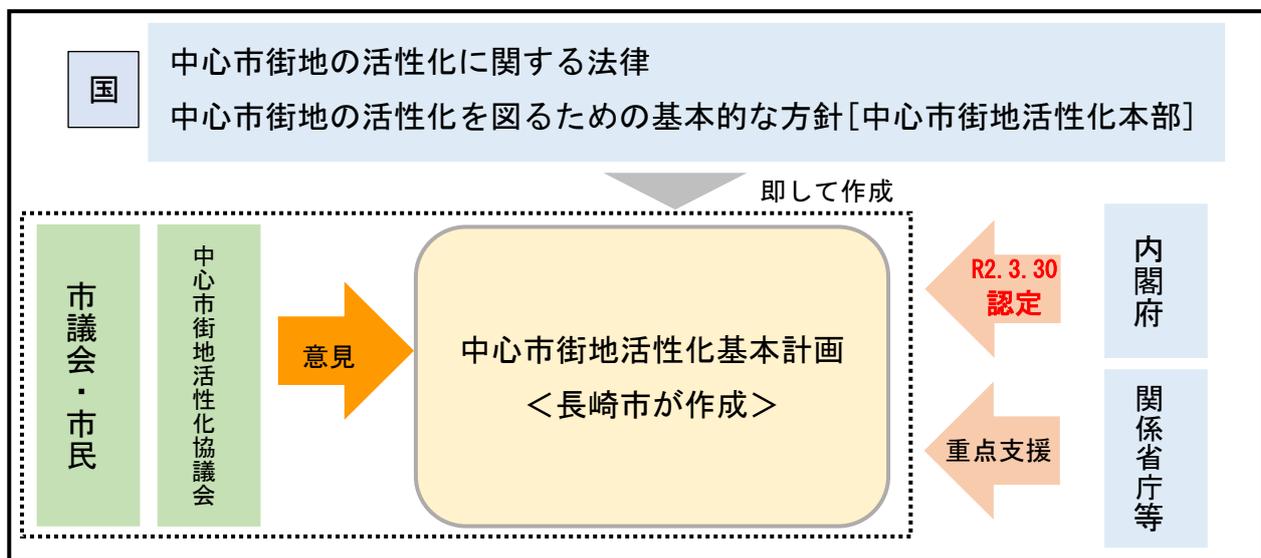
### 1 中心市街地活性化基本計画について

#### (1) 目的

急速な少子高齢化の進展、社会経済情勢の変化に対応して、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進するため、現在、中心市街地活性化基本計画(平成27年4月～令和2年3月の5か年)を策定し取り組んでいる。

しかしながら、近年、人口の社会減の深刻化など都市の課題がでてきたことから、引き続き令和2年4月以降の6か年についても、第2期計画を策定し、中心市街地の活性化に取り組んでいく。

#### (2) 位置づけ



#### (3) 重点的な支援

計画の認定を受けることで、関係省庁等から重点支援を受けられる。

| 区分    | 支援措置の例   |
|-------|--|
| 財政的支援 | <ul style="list-style-type: none"> <li>暮らしにぎわい再生事業（公共公益施設等の整備に係る補助）</li> <li>中心市街地活性化ソフト事業（ソフト事業に係る交付税措置）</li> <li>中心市街地再活性化特別対策事業（施設整備に係る起債及び交付税措置）</li> </ul>  |
| 金融支援  | <ul style="list-style-type: none"> <li>民間中心市街地商業活性化事業計画の経済産業大臣認定、企業活力強化貸付（民間事業者の事業へ(株)日本政策金融公庫による低利融資）</li> <li>特定商業施設等整備事業に係る特定民間中心市街地活性化事業計画の主務大臣認定（民間事業者が行う商業基盤施設の整備等に対する都道府県と(独)中小企業基盤整備機構による無利子貸付）</li> </ul> |
| 法的支援  | <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模小売店舗立地法の特例（大型小売店舗新設、変更の届出緩和）</li> </ul>  |

## 2 第2期中心市街地活性化基本計画の概要

### (1) 方向性

|       |  |
|-------|--|
| 第2期計画 | <p>期間：令和2年4月～令和8年3月（6年間）</p> <p>区域：長崎駅周辺や民間開発の検討が進む幸町周辺から松が枝周辺、新大工から浜町を経て大浦に至るまちなかを含む325ha</p> <p>（第1期の区域に幸町エリアと山手エリアを加えた区域）（別図参照）</p> |
|-------|--|

|     |  |
|-----|--|
| 方向性 | <p>「人口の社会減が深刻化するまち」から「選ばれるまち」へ</p> <p>長崎市をけん引する中心市街地において、交流人口の拡大に加え、転出超過の抑制への取り組みを進め、「選ばれるまち」を目指す。</p> |
|-----|--|

#### 方針①

雇用環境の充実

##### 目標

雇用の場の創出

##### 目標指標

中心市街地の新規雇用者数

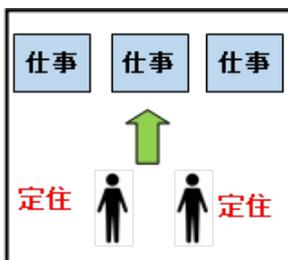
##### 主要事業

企業立地推進事業

新大工町地区市街地再開発事業

交流拠点施設整備事業

##### イメージ



#### 方針②

交流の産業化の推進

##### 目標

交流の産業化による消費の拡大

##### 目標指標

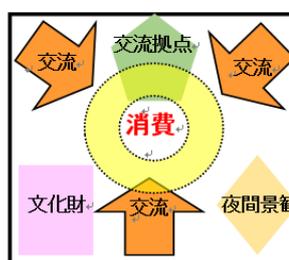
中心市街地の年間延べ宿泊客数

##### 主要事業

交流拠点施設整備事業

文化財保存整備事業

##### イメージ



#### 方針③

暮らしやすさを実感できるまちづくりの推進

##### 目標

市民生活の利便性向上

##### 目標指標

歩行者通行量（9地点）

##### 主要事業

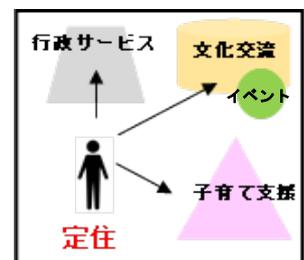
新大工町地区市街地再開発事業

新市庁舎建設事業

長崎駅周辺土地区画整理事業

交流拠点施設整備事業

##### イメージ



## (2) 目標指標及び目標値の積算

| 目標                 | 目標指標                    | 基準値                              | 目標値                              |
|--------------------|-------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 雇用の場の創出            | 中心市街地の新規雇用者数(人)         | 893 (H26~30)                     | 1,500 (R2~7)                     |
| 交流の産業化<br>による消費の拡大 | 中心市街地の年間延べ宿泊客数<br>(人/年) | 1,699,434 (H30)                  | 1,997,000 (R7)                   |
| 市民生活の<br>利便性向上     | 中心市街地の歩行者通行量<br>(人/日)   | 平日：61,997 (R1)<br>休日：60,896 (R1) | 平日：65,300 (R7)<br>休日：64,000 (R7) |

## (3) 掲載事業

第2期計画においては、全87事業を掲載する。(令和7年3月末時点)

| 区分        | 事業数 | 事業例                           |
|-----------|-----|-------------------------------|
| 市街地整備改善   | 42  | 長崎駅周辺土地地区画整理事業、長崎スタジアムシティ整備事業 |
| 都市福利施設整備  | 7   | 交流拠点施設整備事業、新市庁舎建設事業           |
| 居住環境向上    | 2   | 新大工町地区市街地再開発事業、浜町地区市街地再開発事業   |
| 経済活力向上    | 36  | 環長崎港夜間景観整備事業、商店街賑わい整備事業       |
| 公共交通利便性向上 | 9   | 運行情報サイネージシステム導入事業、低床路面電車の導入事業 |
| 合計        | 96  |                               |
| 合計(再掲除く)  | 87  |                               |

